

- 問1 ヨーロッパの主要な都市であるローマとパリの気候の特徴について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 地中海沿岸のローマは年間を通じて雨が多い西岸海洋性気候であり、北方のパリは夏が高温で乾燥する地中海性気候に分類される。 | 2. ローマは暖流の影響で夏に降水量が多くなる西岸海洋性気候に属し、パリはナポレオンを記念したエトワール凱旋門がある地中海性気候の地域に位置する。 | 3. イタリアのローマでは夏に極端に雨が少なくなる地中海性気候が見られ、エトワール凱旋門があるフランスのパリは、季節風の影響で冬に乾燥する温暖湿潤気候に属する。 | 4. ローマは夏に乾燥する地中海性気候に属し、コロッセオなどの古代遺跡が残る一方で、パリは暖流や偏西風の影響で年間の降水量が安定した西岸海洋性気候に属する。 |
|--|---|--|--|
- 問2 国土の大部分が冷帯（亜寒帯）に属し、内陸部では冬の寒さが厳しく降水量が少ない気候の特徴を持つ国があります。この国において、米やとうもろこしの生産量が極端に少なく、小麦の生産が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 小麦は熱帯の多雨な地域での栽培に適しているから | 2. 乾燥帯において大規模な灌漑施設が整備されているから | 3. 小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから | 4. 温帯の地中海性気候を利用して冬の降水で栽培を行うから |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
- 問3 ヨーロッパ州において、EU（ヨーロッパ連合）の加盟国間で実施されている「人々の移動の自由」に関する具体的な内容として、正しいものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 国境の検問所がすべて廃止されたため、EU域外の国からも自由にノーチェックで入国できるようになった。 | 2. 域内の移動は自由になったが、他国で働く場合には必ずその国の国籍を取得しなければならない。 | 3. パスポートの提示なしに国境を越えて移動したり、別の加盟国で就労したりすることが可能になった。 | 4. 移動の自由が認められているのは観光目的に限定されており、就業や居住には事前の許可が必要である。 |
|--|---|---|--|
- 問4 欧州連合（EU）において、一人あたりの国民総所得が相対的に低い東欧諸国が加盟したことで生じている、経済的な事象として正しいものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 加盟時期による経済格差を解消するため、すべての加盟国の所得を強制的に平均化する制度が導入された。 | 2. 東欧諸国の所得水準に合わせて、西欧諸国の一人あたりの国民総所得が年々減少している。 | 3. 東欧諸国の豊かな資本が西欧諸国へ投資され、ヨーロッパ全体の経済成長を温めている。 | 4. 賃金の安さを求めて、西欧諸国の企業が東欧諸国へ工場を移転させる動きが見られる。 |
|---|--|---|--|
- 問5 2019年時点における世界の主要な国・地域別の国内総生産（GDP）を比較したとき、欧州連合（EU）の経済規模について説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 世界最大の経済規模であり、約21兆ドルの国内総生産を誇るアメリカをも上回っている | 2. アメリカの約21兆ドルに次ぐ規模であり、中国の約14兆ドルを上回っている | 3. アメリカの約半分程度の経済規模にとどまっており、加盟国の合計でも中国に及ばない | 4. 中国の経済規模を下回っており、アメリカ、中国に次ぐ世界第3位の規模である |
|---|---|--|---|
- 問6 2004年にポーランドやハンガリーなどの東ヨーロッパ諸国がEU（ヨーロッパ連合）に加盟した際、ヨーロッパ域内では大規模な労働力の移動が発生しました。この移動の方向と主な理由について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 高度な情報技術を学ぶために、西ヨーロッパから東ヨーロッパの都市部へ労働者が移動した。 | 2. 広大な農地を求めて、人口密度の高い西ヨーロッパから東ヨーロッパへ労働者が移動した。 | 3. 共通通貨ユーロの導入を避けるために、西ヨーロッパから東ヨーロッパへ労働者が移動した。 | 4. 相対的に賃金の高い国々での就労を求めて、東ヨーロッパから西ヨーロッパへ労働者が移動した。 |
|---|--|---|---|
- 問7 EU加盟国の経済状況を示した資料において、フランスやオランダなどの初期加盟国が高い値を示す一方で、2004年以降に加盟したポーランド、ハンガリー、ブルガリアなどの国々が著しく低い水準にとどまっている、国の経済的な豊かさを比較するための指標は何ですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|----------------|--------------------|
| 1. エネルギー自給率 | 2. 情報通信技術の普及率 | 3. 国民一人あたりのGDP | 4. 全輸出額に占める工業製品の割合 |
|-------------|---------------|----------------|--------------------|
- 問8 ヨーロッパ州に位置するフランスをはじめとした、ヨーロッパ連合（EU）の多くの加盟国で導入されている共通通貨の名称として正しいものを選択してください。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. ポンド | 2. フラン | 3. ドル | 4. ユーロ |
|--------|--------|-------|--------|
- 問9 ヨーロッパの国々の位置関係について述べた次の記述のうち、バルカン半島の南端に位置し、エーゲ海や地中海に面している国として最も適切なものはどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|--|--|
| 1. 北ヨーロッパに位置し、スカンディナヴィア半島の大半を占めるスウェーデン | 2. 西ヨーロッパに位置し、大西洋と地中海の両方に面しているフランス | 3. 南ヨーロッパに位置し、バルカン半島の南端にあり多くの島々を保有するギリシャ | 4. 南ヨーロッパに位置し、地中海に向かって突き出た形状のイタリア半島にあるイタリア |
|--|------------------------------------|--|--|
- 問10 日本における産業分類の仕組みにおいて、自然界から採取した資源を加工して製品などを作る「第2次産業」に含まれる業種の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 製造業・建設業 | 2. 漁業・建設業 | 3. 商業・製造業 | 4. 農業・製造業 |
|------------|-----------|-----------|-----------|
- 問11 バルカン半島南東部に位置するギリシャの経済的・産業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 地中海沿岸に位置しているが、気候の影響で米の生産は全く行われず、小麦の生産のみに特化している。 | 2. 2009年の財政危機によって経済的な打撃を受けたが、農業では米の生産量が約43万トンに達するなど、周辺国と比較して多い水準にある。 | 3. 財政危機の影響で一時的に失業率は悪化したものの、2009年以降も国民総所得（GNI）が減少することはなかった。 | 4. 豊富な石油や天然ガス資源を背景に、2008年以降も国民総所得（GNI）が右肩上がりで成長し続けている。 |
|--|--|--|--|
- 問12 イタリアの食卓において、パスタやオリーブオイルを用いた料理が一般的である理由は、現地の気候的特徴と深く結びついています。この食文化の背景となる、気候と作物の関係についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 冬に大量の雪が降り、その雪解け水が夏の乾燥を補うため、大規模な灌漑施設を利用したオリーブ栽培が行われているため。 | 2. 一年中高温多湿で降水量が多いため、成長の早い小麦を年に数回組み合わせで収穫する二期作が行われているため。 | 3. 夏に雨が少なく乾燥するため、乾燥に強いオリーブや、冬の雨を利用して育つ小麦の栽培が盛んであるため。 | 4. 夏に雨が少なく湿潤なため、水分を多く必要とするオリーブや小麦が広大な平野で大量に生産できるため。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ローマは夏に乾燥する地中海性気候に属し、コロッセオなどの古代遺跡が残る一方で、パリは暖流や偏西風の影響で年間の降水量が安定した西岸海洋性気候に属する。	イタリアのローマは、夏に亜熱帯高圧帯の影響を受けて雨が少なく乾燥する地中海性気候（Cs）に分類されます。この地域には古代ローマの象徴である円形闘技場のコロッセオなどの遺産があります。一方、フランスのパリは、高緯度に位置しながらも北大西洋海流（暖流）と偏西風の影響を受けることで、気温の変化が穏やかで年間を通して降水が安定する西岸海洋性気候（Cfb）に属しています。パリのシャンゼリゼ通りには、ナポレオンを記念したエトワール凱旋門が位置しています。
問2	答え 3 小麦は耐寒性があり、冷涼な気候でも栽培が可能だから	ロシアは広大な国土を持ちますが、その多くが冷帯（亜寒帯）に位置しています。モスクワなどの内陸部では1月の気温がマイナス10度を下回るなど冬の寒さが厳しく、年降水量も約600mm弱と決して多くありません。このような厳しい環境下では、成長に温暖な気候や多くの水分を必要とする米やとうもろこしの栽培は困難ですが、寒さに強い作物である小麦の生産には適しているため、主要な穀物生産品目となっています。
問3	答え 3 パスポートの提示なしに国境を越えて移動したり、別の加盟国で就労したりすることが可能になった。	EUの統合による大きな利点の一つは、加盟国間での国境の行き来や就労が自由化されたことです。これにより、人々は国境を意識せずに隣国へ通勤したり、より良い条件を求めて他の加盟国で職を探したりすることが容易になりました。これは域内の労働力の最適化や経済の活性化に寄与しています。
問4	答え 4 賃金の安さを求めて、西欧諸国の企業が東欧諸国へ工場を移転させる動きが見られる。	EU域内では人・もの・資本の移動が自由であるため、西欧諸国の企業は、より安い労働力を求めて東欧諸国に生産拠点を移すことがあります。これにより、東欧諸国では雇用が生まれるというメリットがある一方、西欧諸国では産業の空洞化が懸念されたり、東欧から西欧へより高い賃金を求めて労働者が大量に流入したりするなど、加盟時期の違いによる経済格差が様々な社会現象を引き起こしています。
問5	答え 2 アメリカの約21兆ドルに次ぐ規模であり、中国の約14兆ドルを上回っている	2019年の統計データによると、世界で最も国内総生産（GDP）が大きいのはアメリカで約21兆ドルです。EU（イギリスを除く合計）は約15兆ドルであり、アメリカに次ぐ世界有数の経済規模を持っています。これは中国の約14兆ドルを上回る規模であり、EUが世界経済において極めて大きな影響力を持っていることを示しています。
問6	答え 4 相対的に賃金の高い国々での就労を求めて、東ヨーロッパから西ヨーロッパへ労働者が移動した。	EU（ヨーロッパ連合）では加盟国間での「人の移動の自由」が認められています。2004年に東ヨーロッパ諸国が相次いでEUに加盟した際、経済発展の途上にあった東ヨーロッパと、すでに経済的に発展していたドイツやフランス、イギリスなどの西ヨーロッパ諸国との間には大きな賃金格差がありました。そのため、より良い収入や労働条件を求めて、東から西へと多くの労働者が移動する現象が顕著になりました。
問7	答え 3 国民一人あたりのGDP	EU域内では、歴史的な背景から西側諸国と旧共産圏の東側諸国の間で経済的な水準に差があります。ポーランドやブルガリアなどの東ヨーロッパ諸国は、近年経済成長を続けているものの、依然として先行加盟国に比べると「国民一人あたりのGDP」が低く、この指標の差がEU内における経済格差を象徴するデータとして扱われます。
問8	答え 4 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）では、地域内の経済的な結びつきを強めるために共通通貨「ユーロ」を導入しています。これにより、国をまたいで移動する際の両替の手間が省け、貿易がスムーズに行えるようになっていきます。かつてフランスではフランという独自の通貨が使われていましたが、現在はユーロに統一されています。
問9	答え 3 南ヨーロッパに位置し、バルカン半島の南端にあり多くの島々を保有するギリシャ	ギリシャはヨーロッパの南東部、バルカン半島の最南端に位置しています。東側にはエーゲ海、南側には地中海が広がっており、古代から海上交通の要所として発展しました。一方、イタリアはイタリア半島、スウェーデンはスカンディナビア半島、フランスは西ヨーロッパの平原地帯を中心とした国であり、位置する半島や地域が異なります。
問10	答え 1 製造業・建設業	日本の産業分類では、自然界から直接資源を採取する農業、林業、漁業を第1次産業、それらを加工する鉱業、建設業、製造業を第2次産業と定義しています。商業、運輸業、サービス業などは第3次産業に分類されます。経済が発展するにつれて、就業人口の中心が第1次産業から第2次産業、さらに第3次産業へと移行していく傾向が見られます。
問11	答え 2 2009年の財政危機によって経済的な打撃を受けたが、農業では米の生産量が約43万トンに達するなど、周辺国と比較して多い水準にある。	ギリシャは地中海性気候の地域に属していますが、河川の流域や灌漑施設を利用して米の栽培も行われており、統計上では周辺のバルカン諸国よりも多い生産量を示しています。経済面では、2009年に発覚した大規模な財政赤字により、国家の信用が失墜し、国民総所得の急落や深刻な不況に見舞われました。ベトナムやカタールは気候や経済構造が異なるため、この説明には該当しません。
問12	答え 3 夏に雨が少なく乾燥するため、乾燥に強いオリーブや、冬の雨を利用して育つ小麦の栽培が盛んであるため。	地中海沿岸では、夏季に雨が少なく乾燥する地中海性気候の影響を強く受けます。オリーブは葉が小さく硬いなど乾燥に耐える性質を持っており、小麦は比較的雨の降る冬に成長するため、この地域の環境に適しています。こうした農産物が主食や調味料として定着し、イタリア独自の食文化が形成されました。